

# 議会だより かどがわ

NO.141

1

門川町議会広報

January.2015

新年あけましておめでとうございます。  
門川町議会



豚汁でのおもてなし（消防出初式）

一般会計・特別会計補正予算 .....	2 P
一般質問 10人が登壇 .....	4 P
議会報告会報告 .....	1 2 P

福祉避難所災害救助事業・町制施行80周年記念切手作成事業など

歳入歳出とも 2億4439万7千円を追加
歳入歳出総額 74億6470万8千円

平成26年12月定例会は、12月9日から15日までの7日間、開かれました。
今定例会において、諸報告1件、任命同意1件、条例改正1件、契約締結1件、補正予算4件、請願2件が審議され、うち請願1件が不採択、その他の案件については原案通り可決しました。

主な歳入 (万円未満を省略しています)

Table with 2 columns: Item (e.g., 地方交付税, 国庫支出金) and Amount (e.g., 2億475万円, 630万円).

主な歳出

Table with 2 columns: Item (e.g., 福祉避難所施設機能充実災害救助事業) and Amount (e.g., 74万円, 1335万円).

特別会計補正予算

国民健康保険事業特別会計

歳入歳出ともに1371万4千円を追加
歳入歳出総額29億2557万円

後期高齢者医療特別会計

歳入歳出ともに107万5千円を追加
歳入歳出総額4億1216万4千円

介護保険事業特別会計

歳入歳出ともに301万7千円を追加
歳入歳出総額15億9565万5千円
歳入では介護保険システム改修事業に伴う国庫支出金150万7千円、繰入金151万円を追加
歳出は、介護保険システム改修事業など301万7千円を追加

諸報告 専決処分

和解および損害賠償額の決定
かどがわ温泉「心の杜」における入浴中のけがについて、負傷した方との和解およびその方への損害賠償額を決定し、専決処分したとの報告がありました。

人事 案件

教育委員会委員の任命 (同意・全員賛成)
任期満了により、後任の委員を任命するにあたって、議会の同意を求めるもの。
後任の委員に、新原とも子氏(再任、東栄町在住)。

国民健康保険条例の一部改正

出産育児一時金の総額
産科医療保障制度掛け金
出産育児一時金の支給
(可決・全員賛成)

請負契約

防災行政無線等整備事業
予定価格が5千万円以上の請負契約により、議会の議決を求めるもの。
契約方法 随意契約
選定方法 プロポーザル募集
契約相手 沖電気工業(株)九州支社
金額 3億3146万2800円
事業内容 町内全域に同報系無線整備および移動系無線網の構築
実施年度 平成26、27年度
(可決・全員賛成)

請願

集団的自衛権の行使容認の閣議決定見直しについての意見書提出
「集団的自衛権の行使容認」という平成26年7月1日の閣議決定の即時見直しを要望するもの。
(不採択・賛成少数)

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する意見書提出
肝硬変・肝がん患者を含むすべての肺炎医療に係る医療費助成制度の創設および身体障害者福祉法上の肝機能障害による身体障害者手帳の認定基準を緩和し、患者の実態に応じた認定制度にすることを求めるもの。
(採択・全員賛成)

意見書 (議員発議)

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書
前出の請願の採択を受けて、意見書を国等へ提出するもの。
(可決・全員賛成)

第2回臨時会

平成26年11月4日に中央公民館耐震改修工事請負契約についての臨時会が開かれました。結果は、賛成少数(5・8)で否決されました。

第3回臨時会

平成26年11月25日に開かれました。

議案第37号
一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
(全員賛成)

議案第38号
町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正
(全員賛成)

議案第39号
教育長の給与及び旅費に関する条例の一部改正
(全員賛成)

議案第40号
議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正
(賛成多数)



## ETC車載器への補助は

森 誠一

### 町長 前向きに検討

**町長** 門川南スマートインターチェンジには、町の産業、物流、観光、企業誘致、さらには防災と、多大な効果を期待しているが、まずは町民に広く利用していただき、その利便性を実感することで利用促進を図っていくことが大事だと考える。

スマートインターチェンジがETC専用であることを十分周知を図りながら、車載器の取付けを推進していく必要がある。

補助については、前向きに検討したい。

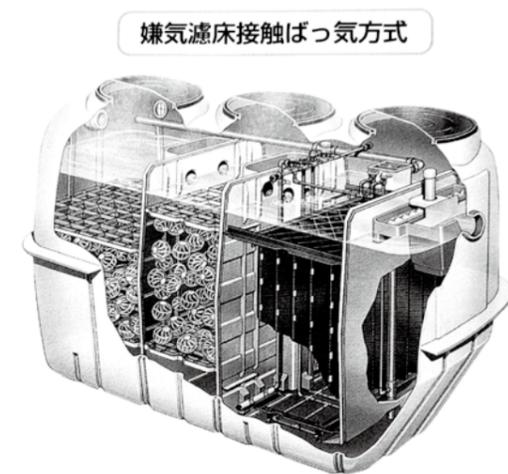
**町長** 平成28年度に開通するスマートインターチェンジはETC専用。利用促進のために、車載器の購入取付けに補助する考えはないか。



交差点改良工事



スマートIC入口交差点工事始まる



合併浄化槽

**町長** 合併浄化槽設置補助の増額は、生活排水による水質汚濁防止を図るため補助金を出して推進をしているが、事業所の予算の枠が10件分と少なく、補助対象とならない案件が出てくる現状がある。

事業所分の予算を増額する考えはないか。

**町長** 事業所分の補助については、本町独自の事業であり、増額は厳しいものがある。

河川海域の水質汚濁防止の面からも進めなければならぬと考えるので、事業所分の補助については、今後も十分検討していく。

# 一般質問 10人が登壇!

## 町政を問う!

## 空き家バンク事業に取り組む考えは

安田 厚生



### 町長 有効な施策の一つと考える

**町長** 人口減少が続く中、有効な施策の一つと考えるが、住宅情報以外にも就労支援などへの対応と合わせ研究していく。

**町長** 町内にある空き家等を利用して町外から本町へ定住を考えている方や、Uターンによる定住を希望されている方へ空き家、宅地の情報提供をしていくための「空き家バンク事業」に取り組む考えは。

**町長** 図書館利用者のニーズ把握を

**町長** 図書館は休館日となる月曜日が祝日となった場合も休館となるが、利用者からは祝日こそ、図書館を開館してほしいという声を聞く。利用者のニーズを把握するためのアンケート調査など実施する考えは。



門川町立図書館

**町長** アンケート調査については、今後の検討課題にする。利用者の方々には引き続き、土日曜日を含めた開館日の活用をお願いしたい。

### 弓道場の整備は

**町長** 弓道場を整備する関係者から、弓道場の建設の要望がある。

弓道場やスポーツ施設整備についての考えは。

**町長** 門川海浜総合公園整備当時、弓道場建設が検討されたようだが、野球場や流水プールを

含めた現施設での整備に至ったものと認識する。新たに建設するとすると用地確保など多額の経費を要するため早急な方針決定は困難である。スポーツ施設の整備については、既存施設の適切な維持管理に努めたい。





# 窓口到手話通訳のできる職員の配置を

菊地 稿治

## 町長 人的資源や制度を有効に活用する

役場窓口における現在の状況は、聴覚に障がいがある方々にもその程度などで、一人一人に差異があるが、一般的には日本語の言語概念を習得されている方が多い。実際の窓口での職員対応は、「筆談」を主としたコミュニケーション手段を用いているところである。

町長

本町の行政サービスを受けようとする聴覚障がい者の方が、役場の担当職員と十分なコミュニケーションがとれるように受付窓口到手話通訳のできる職員を配置し、住民サービスの向上を図ってはどうか。

また、毎年開催されている手話奉仕員養成講座を受講した職員が合計で10人ほどおり、今年も2人の職員が自主的に講座を受講している。

また、社会福祉協議会に手話通訳者の派遣を行う「コミュニケーション支援事業」を委託し、聴覚障がい者の相談支援などに努めているところでもある。



町内小・中学校の手話指導などの活動をしている。

手話通訳のできる職員の養成には、人員や時間の制約、慣れから誤った情報を伝えてしまう恐れはないか等、様々な課題がある。

また、毎年開催されている手話奉仕員養成講座を受講した職員が合計で10人ほどおり、今年も2人の職員が自主的に講座を受講している。

また、社会福祉協議会に手話通訳者の派遣を行う「コミュニケーション支援事業」を委託し、聴覚障がい者の相談支援などに努めているところでもある。



補聴器



# 女性管理職登用の考えは

内山田 善信

## 町長 今後はおのずと国の目標に近づく

これまでに女性管理職がいた時もあったが、定年退職と年代構成の関係から、現在は女性管理職0人である。

町長

国は指導的立場に就く女性の割合を平成32年までに30%にするという目標を掲げている。23年4月1日現在の女性管理職の割合は、宮崎県職員で4.7%、市町村職員が4.4%となっている。

本町の職員構成は一般行政職124人中、女性職員は35人で女性の占める割合は約28%。役職と比較すると課長補佐では15人中、2人で13%、係長では28人中、6人で約21%となっている。町としては、数値目標を達成することを目的とするのではなく、これからの人事評価制度の導入により、能力と適性に応じた人材育成、職員配置、管理監督職員の任用にも活用していく予定である。今後はおのずと国の目標に近づくと考えている。

中央公民館の耐震改修工事は「緊急防災・減災事業債」を利用して、26年度工事完成を目指していたが否決された。

町長

同じ内容での契約議案の再提出はできませんし、26年度施工は不可能です。次年度施工に向けて「緊急防災・減災事業債」での耐震改修を図るべく、県をはじめ関係機関への働き掛けを行っていく。



中央公民館



中央公民館(裏)



## 高速道路の開通に伴い道の駅が必要では 小林 芳彦

**町長** 町内の各団体の機運を見極めたい



本町の観光に活用したい国道10号沿線

**町長** 東九州自動車道の蒲江～佐伯間の開通を間近に控え、県北も新しい時代を迎えようとしている。門川町も高速道路が通る沿線自治体として、町づくりは喫緊の課題であり、その一つに新たな観光客の集客の場（道の駅）の創出は必要であると考えているが、町長の考えは。

**町長** 現在「道の駅」事業については、国の有効な補助制度がない。また、門川町には、水産加工関連や地元で根付いた地場産業の施設があるので、充実、連携できれば、販売強化につながると思う。ただ、今後の情勢や、国の補助事業などを精査しながら、町内各団体の機運の高まりを見極め、様々な角度から検討していきたい。

**町内小学校の体育館の建て替えは**

**町長** 現在の体育館の経過年数は、門川小学校、草川小学校が築40年、西門川小・中学校が築39年、五十鈴小学校が築30年となっている。また、平成20年度に門小・草小については耐震補強工事を行い、25年から年次的に照明落下の防止やLED灯への変更と体育館の安全面、機能面の改善を図っている。

**町長** 体育館の建て替えについては、多額の予算が伴うことから、文部科学省が積極的な採用を提言する「学校施設の長寿命化改修」について調査・研究を行い、年次的な計画を立て整備を進めていきたい。

**町長** 体育館建築後は、部分的な補修で対応している。今後は、「学校施設の長寿命化改修」を活用する中で既存の床の上に張るカー工法などを視野に入れて調査・研究を進めていきたいと考えている。



門川小学校体育館



小学校体育館の床



## 女性の雇用の場を

米良 昭平

**町長** 雇用は喫緊の課題

**町長** 今後ますます若い女性層の流出が懸念されるが、女性の雇用の場として、女性向けの小規模企業を誘致しては。

**町長** 地元の高校を卒業しても進学先や就職先がなく、町外・県外へと都市部へ転出してきている現状がある。本町においても人口減社会を迎えるにあたって若い世代の流出は、対策を取っていく必要があると考える。

女性に特化した計画はないものの、女性と若い世代の雇用の場の確保は喫緊の課題であるため、今後も対策に取り組んでいく。

**山の遊歩道**

**町長** 小園井堰から宮川内川に沿って頂上になると、小松地区と中山地区から続く尾根の三角点になる。その下に続く平地から中山地区の堀ノ内川に沿って下



**町長** 現時点での整備は難しく、その後の管理も難しい。遠見半島や乙島などの町内各所にある既存の遊歩道を維持管理し、さらなる活用を促していく。

りて、「アカダ電気製作所」前から中山集落センターまでのコースは、最も適していると考えている。このコースを歩くと山を感じ、豊かな自然を再発見できる。また共同体の価値を感じて生活する文化がある農村を通る。整備してはどうか。

## 経済および産業振興対策は

森川 春夫

**町長** 鋭意努力をして取り組みたい

**町長** 本町の経済対策および産業振興対策の現在、そして今後の取り組みについての町長の考えは。

**町長** 町民一人ひとりが今後とも「やっぱり門川がいい」「ずっと門川で暮らそう」と実感できる町づくりを推進するためには、地域産業が元気で、生き生きと働けるまちづくりが町政の最重要課題であると認識している。

その実現に向けて、「第五次長期総合計画」の政策の一つの柱である「産業創造のまちづくり」に基づく諸政策を着実に推進し、企業や事業者の方々の自らの創意工夫および自助努力をもとに、産業振興の促進を共に取り組んでいきたい。

経済対策の取り組みでは、地域経済の活性化と雇用創出を目的とした国の交付金を活用し、乙島の観光施設整

備、心の杜公園駐車場整備や都市公園施設整備などを計画より前倒しで実施してきた。また、町独自として、地域の活性化や町内の消費拡大により、小売業、飲食業や中小商工業者の振興を図る元気振興券事業、産業の活性化や雇用創出を図る木造住宅耐震改修等住宅リフォーム促進事業に取り組んでいる。

いずれにしても、経済進行対策については、第一に地域内循環によって雇用を生み出すこと、本町の魅力を向上・発信することが大切であると考えている。

今後は、国県の政策の動向を注視し、町の財政状況を見ながら、地域の活性化、観光振興、あらゆる産業の振興、雇用の場の確保、安全・安心のまちづくり、地元産業の育成などに、全庁をあげて鋭意努力をして取り組んでいきたい。



## 企画商工観光課の新設を

神崎 千香子

### 町長 機構改革の際に参考にしたい

企画財政課の仕事は、どぶろく、ウォークラリーなど地域振興のための地域振興アドバイザー配置、ウミズメシの映画、乙島などの植物調査など、産業振興課の仕事と重なっている部分がある。各課の係の仕事を統一、整理するべきでないか。

町長 現在「都市マスタープラン」の見直し作業を実施している。これらの計画は、企業誘致、観光開発、人口減少対策とも密接に関連している。これらの計画の検証と見直しの結果、組織のあり方検証、見直しの必要性があれば参考に進めたい。

町長 高速道路新時代に対応した町づくり・特に企業誘致、観光開発、人口減少対策などを進めるために「企画商工観光課」の新設が必要ではないか。



桃源郷岬入口

町長 現在、遠見半島には、桃源郷岬という観光地ができていて、シーズンになると観光客が約3万人、観光バスが大小合わせて300台くらい来ている。桃源郷の上は、町の森林公園がある。また地元農業団体もウォークラリーなど催して、ウ

町長 計画報告書の確認をしたが、その後の社会情勢の変化でこの計画書は役目を果たしたと考えている。遠見半島のあり方は、長期総合計画の中で表現できる。

町長 遠見半島開発 昨年の9月議会で現在の遠見半島開発計画（遠見山森林公園周辺観光開発整備報告書）については、「20年近く前に作成された内容なので内容を十分検討していく」との事だったが、その後の検討内容は、



枇榔島

町長 オーキングコースとなっている。長期計画には、遠見半島の具体的な絵はない。現実に合わせて計画が必要だ。今後、心の杜とも一体化した観光地づくりのために、地元、民間観光事業者、観光協会など住民と協働で遠見半島計画づくりのための協議会を立ち上げ、県、国を巻き込んだ構想を立てたらどうか。

町長 解決しなければならぬ問題があり、非常に難しい問題だ。 門川町長期総合計画から抜粋 〈観光振興 具体的施策〉 1 遠見半島を中心とした観光振興 開発拠点地区として整備された遠見半島につきましましては、ゴルフ場、福祉健康交流施設（かどかわ温泉心の杜）ふれあい多目的広場などが整備されました。 今後は、岬権現などの恵まれた自然環境を有効に活用し、遠見山、乙島、海浜総合公園などと有機的な連携を図り、広域的な観光の振興及び施設・道路整備の推進を図ります。



## 津波対策として、避難路に手すりの設置を

水永 正継

### 町長 今後の検討課題として考えていく

町長 心の杜への上り坂について、手すりを付ける場合は、人や自転車の往来する十分なスペースが必要となり、現在の歩道の幅では、手すり設置後に手すりや自転車との接触、人と自転車との接触事故等が懸念される。手すりを新たに設置するには道路幅を大きくし、なおかつ、大きな歩道幅を確保する必要がある。今後の検討課題として考えていく。

町長 多くの住民が津波発生時の避難について不安を抱いている。心の杜への上り坂に、手すりを設置できないか。



かどかわ温泉「心の杜」への登り坂

町長 総合福祉センターへの上り坂については、現状の道路幅で、側面に新たな手すり付きの歩道を整備することは難しい。今後の検討課題として考えていく。



総合福祉センターへの登り坂

町長 避難通路が整備改善されたところは、どの程度あるのか。

町長 平成24年度に南町1区・庵川西・庵川東を、25年度に南町1区・須賀崎・庵川東を整備してもらった。 また、海岸部にある急傾斜地を利用した避難路整備等も活用できないか関係機関への働き掛けを行っている。 今後、年次の計画でできることから取り組んでいく。

町長 町は、住民から苦情・相談を受けた場合、雑草などの刈り取りが必要なときは、その管理者に指導を行っているが、改善が見られないという声があるが。

町長 現在一定期間を過ぎても改善されない場合は再度通知を行い、場合によっては勧告書を送付している。その際、町内や近隣市町村の方であれば直接会って改善していただくよう指導している。 なかには土地の管理者のはっきりしない土地や地権者の理解が得られにくい場合もあり、苦慮しているが、今後でも対応していただくよう努めていく。

町長 町道の安全管理と事故防止策は町民の安全・安心な暮らしに重要なので、危険箇所把握に努め、該当箇所の把握については、早急な対策に努めていく。 町長 川内原発の再稼働について多くの住民が不安を感じ、また、全国には原発再稼働について心配の声が広がっている。川内原発が事故を起こせば宮崎県北部も影響を免れることはできない。原発再稼働問題について町長の考えは。 町長 今後、川内原発のほかに、他の原発も再稼働については是非を巡る論議が国において活発化していくと予想される。その推移を見守っていききたい。

# 第2回議会報告会を2会場で開催

去る11月6日(木)19時から西門川活性化センターと11月9日(日)13時30分から総合福祉センター会議室で開催しました。



西門川活性化センター



総合福祉センター

## 報告会内容

- ・議会運営委員会報告
- ・各常任委員会報告(平成25年度決算、視察報告)
- ・質疑・意見交換

## 参加者

全議員(14人)・事務局(3人)・住民参加者(西門川会場18人、庵川会場9人)  
住民参加者の年齢別では、20代、30代の参加がゼロで、すべて40代以上の方でした。また、女性の参加は3人で、議会に対する関心の低さが浮き彫りになっています。今後、議会の粘り強い取り組みが必要であると感じました。

## 意見交換

- 問** 松瀬・川水流線改良工事で延岡市側の方が進んでいないが、どうなっているのか。町議会として働きかけてもらいたい。
- 答** 延岡市議会議長の話では、門川町側の完成に合わせて努力していきたいとのことであった。
- 問** 県道八重原延岡線は狭くて、軽自動車しか離合できない箇所がある。1次、2次改良工事は行われたが、ここ6年くらいストップしている。一度に全部やってくれと言うわけではない。100mずつでも良いから年次的に行って欲しい。
- 答** 県道が狭いということは、議会としても認識している。今後、要望活動等に努力していきたい。
- 問** 現在、町長選挙と町議会議員選挙が別々に行われているが、統一して同時選挙ができないのか。
- 答** 議会運営委員会でも協議したが、どちらの任期も4年間ということで早急の実行はなかなか難しいところがある。今後の課題として取り組んでいきたい。

## 人口減社会への対策は

黒木 裕



### 町長 中長期的な視野で取り組む

**問** 出生率の低下、子育ての難しさ、雇用の場不足、未婚者の増加などが要因と考えられる社会現象である人口減社会に対する考えを聞きたい。

**町長** 本町の人口の推移は平成12年の1万9287人をピークに減少に転じて、平成22年調査では、1万8854人となっている。本年12月1日現在では1万8355人と減少を続けている。本町の人口は2040年において1万3908人まで減少する試算が公表されている。本町の特殊出生率は、平成22年時点で1・68と全国平均より2・9ポイント上回っているものの、今後の人口減社会を迎えるにあたり、何らかの対策を講じなければならぬ状態にある。

人口減少がもたらす影響は、税収の減少による公共サービスの低下、世代間の不均衡による社会保障の現役世代への負担増など様々な面で懸念される。人口減少の要因として、全国共通の未婚者の増加、出生率の低下による少子化の進行に加え、地方においては都市部への人口流出など、いろいろな原因が考えられる。

人口減少問題は、「雇用」「住宅」「教育」「子育て」など、すべての施策が人口減少対策につながっているが短期的な施策で早急に解決できるものではなく、中長期的な視野を持って課題解決に取り組まなければならないと考える。将来、人口、経済状況の分析や各省庁との連携窓口である「地方創生コンシェルジュ」に申請をし、今後国・県・関係機関と連携した人口減少対策への研究を進めたい。

## 感想・要望等

- ・パワーポイントを使用した報告は理解しやすいが、視察現場の状況など実際の写真をもっと増やして説明すると、より分かりやすくなる。
- ・各委員会の課題、問題点等の説明があればもっと良くなるのではないかと。
- ・先進地視察・調査を行った後、そのことを本町へどう反映していくのか考察したら良いのでは。また、何かアクションを起こしているのか。これについても、報告が欲しかった。
- ・決算報告の中で、支出についてもっと深く突っ込んだ報告があっても良いのでは。
- ・五十鈴川流域の水害対策を早急にやって頂きたい。また、川底に砂利が滞積しているところもあり、砂利の撤去をして欲しい。
- ・報告会に参加する人数を増やすよう、開催時期の検討と町民への周知方法を見直すと良いのでは。
- ・NHKのど自慢を誘致したら門川町の活性化にもつながるのではないかと。
- ・開催する会場数が少ないのでは。4～5地区で開催して欲しい。
- ・報告会は、今後も継続して開催することが大事だ。
- ・初めて参加したが大変良かった。

シリーズ

# 地域の力特集

## 三ヶ瀬ひな山祭り

三ヶ瀬地区は世帯数100の小さな集落で、高齢世帯が多く、若者は町へ出て行き、ますます疲弊し、活気のない集落となっていくことを危惧し、何とかして活気のある三ヶ瀬にできないものかと、立ち上がった人が、竹田 継敏さんです。何をしたらいいのか考え、思いついたのが、ひな山祭りだった。

賛同した、大原2の婦人会や有志が集まり、材料集めから制作までみんなで協力して、平成21年に第1回ひな山祭りを開催することができました。大盛況でありました。

翌年の第2回は、鳥インフルエンザの発生で残念ながら中止となりました。

第3回からは、三ヶ瀬区全体のイベントとなり、近隣はもとより遠くは、鹿児島からも来ていただきました。昨年は、1300人の方々に見てもらいました。これからもたくさんの人に楽しんでもらえるよう工夫し続けていきたい。

今年も2月27日から3月3日の5日間、開催しますので、皆さんもぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

(記 森)



### 議会傍聴のご案内

12月定例会には27人の方々が傍聴に来てくださいました。次回の定例会は3月です。皆様の傍聴を心よりお待ちしております。お問い合わせ：議会事務局 TEL 63-1140(内線271)

■ 発行者／門川町議会議長 安田茂明  
■ 編集／議会広報編集特別委員会  
〒889-0696  
宮崎県門川町本町1丁目1番地  
TEL(0982) 63-1140  
■ 印刷／安井株式会社



### 議会広報編集特別委員会

- 委員長 朝倉 利文
- 副委員長 森 誠一
- 委員 菊地 稿治
- 委員 森川 春夫

12月定例会が15日で閉会しました。現在の委員で編集する議会だよりも141号までとなり、次号から新しい委員にて発行されます。4年間一人でも多く読んでもらえるようにと研修を重ね、全国レベルまでなりました。昨年は議会報告会も2回行い、その都度意見交換会も実施しました。議会への関心を高めていただき議会活性化に取り組む必要があると考えます。

編集後記